

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	縄文人復活！プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	御代田町 (浅間縄文ミュージアム 電話0267-32-8922)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,446,498円 (うち支援金: 2,595,000円)

#### 事業内容

以下の事業を実施した。

- 講演会の実施 3回
- 写真講座の開催 1回
- 写真コンテストの開催 1回
- 写真企画展の開催 1回
- 縄文人体模型の製作 1体 (女性) 衣服製作1組
- 縄文人復元面の製作 2体分
- 縄文写真パネル製作 7枚 懸垂幕製作 2枚



米田穰氏による講演会風景 7/7

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 講演会参加者の増加  
通常講演会では50人~80人の参加が一般的だが、今回は1回目(250人)2回目(150人)3回目(105人)の大幅な参加があり、関心の高さがうかがえた。
- ② 全体観覧者の増加  
通常年度33000人に対し、36,000人以上の来館者があった。
- ③ 縄文写真展(フォトエキシビジョン) 来訪者の増加  
目標1,000人に対し1,851人の観覧者があった。
- ④ 上記により、縄文を基軸とする地域文化創造拠点の形成へとつながったものと考えられる。

#### 【目標・ねらい】

- ① 縄文文化の魅力発信による来訪者増加
- ② 縄文を基軸とする地域文化創造拠点の形成
- ③ 市民参加による博物館事業の展開

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この縄文トレンドを逃すことなく、来年度も後半期事業として元気づくり支援金「縄文人復活プロジェクト」パート2として申請予定である。  
また、元気づくり支援金の採択とは別に、縄文時代の魅力発進を様々なイベントを企画して続けていく。

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

先端諸科学による縄文時代の講演、写真展示を行い、大勢の方に来訪いただき、また市民参加型のフォトコンテストも新しい取り組みで予想以上の大きな効果が得られた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある